

本年から70年前の1951年（昭和26年）6月23日、北九州市小倉北区小文字山中腹に、国際連合軍記念十字架、通称メモリアルクロスが誕生した。高さ約20メートルのジュラルミン製で、当時激戦最中の朝鮮戦争犠牲者の慰霊碑。そこは、文字には

表していないが痛ましい戦禍が記憶され、一方で、北九州をはじめ多くの人の尽力により幾多の命を守り、平和を築くよすが（縁）でもあった。

朝鮮戦争は第2次世界大戦後間もない1950年（昭和25年）6月25日、北朝鮮軍が北緯38度線を越えて韓国



小倉市時代のメモリアルクロス（「小倉六十三年小史」より）

に侵攻したことから始まり、やがて韓国、米国を中心とした国際連合軍と中国人民義勇軍も参戦した北朝鮮軍による朝鮮半島全域を覆う戦いに拡大。1953年7月の休戦協定締結で終息するまで、兵士、一般人民合わせて実に数百万人にのぼる犠牲者を出した。

### 朝鮮戦争 北九州に大きな足跡

「この戦争に、我が日本は加担していない」として、傍観者のな態度で接する人が多いとみられ

る。だが、戦争勃発時、米軍が中継拠点としたのは小倉。アメリカから弾薬が運び込まれ門司港から朝鮮半島へ送った。戦死した将兵の死体処理も小倉・城野で行われ、その数約6万人分とも言われる。そんな状況から戦地に送られる米軍黒人兵の暴動が起き、市民を恐怖に陥れた事件も発生。松本清張氏の「黒地の絵」で描かれているのを知る人は多いだろう。

また、実は米軍に協力する形で参戦を強いられ、犠牲になった日本人もいるのである。戦争勃発から4カ月後の10月27日、米軍に求められて出動した海上保安庁の本造掃海艇が朝鮮半島元山沖の機雷を掃海中、触雷して沈没、山口県出身の司厨員1人が死亡、18人が負傷した。同年11月には、やはり元山沖付近で米海軍大型ひき船が触雷で沈没、日本人乗員22人が犠牲に。翌1951年2月、また元山沖で米軍掃海艇1隻が触雷で沈没し米軍に雇用されていた小倉と神戸出身の2人が死亡した。米側の資料「占領軍調達史」

は戦車や弾薬等の運送に多くの日本船、乗組員が徴用され同年1月までに381人が死傷したと記している。往時の日本、国民・市民にとつて決して他人事ではなかったのである。

参戦、死亡した国連軍兵士は約15万人、うち米軍約14万人との数字もある。このような状況下、小倉の米軍第24歩兵師団レイ・ラックス司令官は戦死将兵の名誉をたたえる慰霊碑建造を決意。これに小倉YMCA（キリスト教青年会）なども賛同。建造作業に満州引揚者採用の世話をするなど協力して、メモリアルクロスが出来たのである。

そのメモリアルクロスに1953年（昭和28）6月23日、フィリピンから観光団137人が訪れた。同国の大学総長で日本とのつながりも深い牧師のネルソン博士の発案。日本渡航を通じて国民の反日感情を和らげようとの狙いがあった。

フィリピンでは1942年から日本軍が占領。地元民への弾圧が激しく、終戦ま

を紹介している。キリノ大統領も当時、

ようやく「日本は私たちの隣国である」と述べると軟化していた。そして日本か

けていきたい」話している。

#### ※メモリアルクロス現況

小文字山（標高366メートル）山麓に米軍によって建立された後、放置され所有、管理者は不明状態だった。県、小倉市などの協議で1954年（昭和29）12月、小倉市が国連から所有、管理を引継いだ。1985年（昭和60）眼下の宅地開発などによるがけ崩れで崩壊の危機が生じ、翌86年、50メートルほど山頂側の現在地に移築した。一帯は現在、北九州国定公園。

シニアスタッフ 村田和夫



朝鮮半島方面に向けて小文字山中腹に立つメモリアルクロス

での間、50万〜100万人が亡くなったとされる。戦後就任したキリノ大統領自身も目前で妻と3人の子が日本軍の手で刺殺されるという悲劇を体験していた。国民の反日感情は厳しく日本の敗戦後、旧日本兵151人を一般市民への殺害、虐待、監禁などの容疑で戦犯とし、1948年1人、翌年33人、1951年14人を死刑に処した。この中には、犯罪行為に

関わっていないとみられる無実の人もいた。死刑を宣告された中には小倉出身者2人の名前もあった。これらの人の助命・減刑嘆願運動が日本、フィリピン両国のYMCAを中心に行われていた。しかしフィリピンの反日感情は収まらない。ここでネルソン博士は交友の深い岡田七雄・小倉YMCA主事にフィリピン人日本招待を持ちかけたという。

### メモリアルクロス フィリピンとの友好の きずな

小倉YMCAで約30年間勤務していた安東邦昭さん（77）（北九州市小倉南区）は昨年末に刊行した著「小倉メモリアルクロスの記憶」でその詳細

を明かした。メモリアルクロスが立つて70年。安東さん達は今年、記念の慰霊祭を計画しているがコロナ禍で中止やむなしの状態。それでも「かつて朝鮮半島、フィリピンでの悲惨な出来事があったことを忘れてはいけない。広く知ってもらうことが必要。機会がある度に訴え、フィリピンとの交流も続

今回の歴史文化塾は感染予防のため中止致します。